

平成22年度第1回墨田区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日 時： 平成22年5月25日（火）午後2時00分から午後4時00分

場 所： 墨田区役所 庁議室

- 議事内容：
- 1 開会
 - 2 墨田区長あいさつ
 - 3 委嘱状の交付
 - 4 委員紹介
 - 5 会長選任・副会長指名
 - 6 議題 （1）墨田区地域福祉計画の改定について
（2）その他
 - 7 閉会

【配布資料】

墨田区地域福祉計画推進協議会委員名簿
墨田区地域福祉計画推進協議会事務局職員名簿
墨田区地域福祉計画推進協議会設置要綱
墨田区地域福祉計画関係年表
墨田区地域福祉計画の改定について

【参考資料】

- 【参考1】地域福祉、及び地域福祉計画に関する社会福祉法の規定
- 別紙1 計画の概念図
- 別紙2 墨田区地域福祉計画策定検討体制
- 別紙3 墨田区地域福祉計画改定スケジュール（推進協議会・庁内推進本部との関係、フロー）
- 墨田区地域福祉計画推進協議会計画改定作業部会 委員名簿（案）
- 墨田区地域福祉計画策定のためのワークショップ「地域について語り合おう」

墨田区地域福祉計画推進協議会委員名簿

氏 名	所 属
○山口 稔	関東学院大学教授
鈴木 洋	すみだ医師会会長
小西 正裕	東京都本所歯科医師会会長
青山 晰子	墨田区薬剤師会副会長
大屋 善次郎	墨田区民生委員・児童委員協議会会長
西山 垣八	墨田区障害者施策推進協議会会長
浮嶋 松男	墨田区障害者団体連合会会長
◎野原 健治	墨田区私立保育園協会、興望館館長
横田 一夫	墨田区老人クラブ連合会副会長
植竹 香苗	墨田区たちばな高齢者在宅サービスセンター施設長
今 牧 茂	墨田区社会福祉事業団事務局長
深野 紀幸	墨田区社会福祉協議会事務局長
北村 嘉津美	墨田区男女共同参画推進委員会委員
石鍋 光子	朗読奉仕「くさぶえ」
伊 藤 林	個人ボランティア
本宮 秀明	全国福祉情報研究会 3SUN ネット墨田支部
小 川 昭	墨田区ボランティアサークル連絡会
齊藤 宮子	点訳グループ「きつつき」
細川 保夫	墨田区福祉保健部長
鈴木 陽子	墨田区子育て支援担当部長
稲垣 智一	墨田区保健衛生担当部長

◎推進協議会会長 ○推進協議会副会長

事務局

厚 生 課 長	相澤邦雄
保 護 課 長	浮田康宏
障 害 者 福 祉 課 長	鈴木一郎
介 護 保 険 課 長	石井秀和
高 齢 者 福 祉 課 長	高村弘晃
子 育 て 計 画 課 長	岩佐一郎
児 童 ・ 保 育 課 長	高橋政幸
子 育 て 支 援 総 合 セ ン タ ー 館 長	前田恵子
保 健 計 画 課 長	小久保明
厚 生 課	川崎、伊藤、舟川

1 開会

(事務局) 平成22年度第1回地域福祉計画推進協議会を開催します。はじめに、区長よりごあいさつを申し上げます。

2 墨田区長あいさつ

3 委嘱状の交付

(区長) 皆様ご多忙のところお集まりいただきありがとうございます。そして、日頃より墨田区の地域福祉にご理解いただいていることに厚くお礼を申し上げます。本日、地域福祉計画推進協議会委員委嘱状の交付をさせていただきます。現行の第二次後期計画が今年度をもって終了します。地域や福祉関連の皆様のご意見をいただき、来年度の改定に向けて取り組んでいきたいと考えてます。墨田区は人情のまちという特徴がありますが、だんだん人と人との絆が希薄化しています。ぜひ、第三次墨田区地域福祉計画には、人と人とが支え助け合う、連携する、そういった墨田区らしい考え方を取り入れてつくっていききたいと考えています。色々な課題はありますが、墨田区の掲げる協治（ガバナンス）に基づいた施策展開をしていけるように、それぞれの立場でご意見・ご支援をよろしくお願いします。この後は皆さんにお任せして退室させていただきます。

—区長退室—

(事務局) 会長の選任までの間、事務局で引き続き進行します。この協議会は区民への公開が原則となっていますが、本日の傍聴申し込みはなかったことを報告します。まず、お手許の資料を確認させていただきます。

—資料確認—

4 委員紹介

(事務局) それでは、委員の皆様をご紹介します。

—委員紹介—

5 会長選任・副会長指名

(事務局) 次に会長の選任に入ります。委員の皆様方に互選をお願いします。いかがでしょうか。

(委員) 前会長の野原委員がよいと思います。

(一同) 賛成。

—拍手—

(事務局) それでは、野原会長にごあいさつをお願いします。

(会長) 微力ながら、会長をお受けし役割を果たしていきたいと思っております。皆様と地域福祉についてさらに勉強し、多くの方々に伝えていくことをテーマに協議会をすすめていきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いします。

(事務局) 引き続き、野原会長から副会長の指名をお願いします。

(会長) 関東学院の教授であり、地域福祉の専門家、また全国社会福祉協議会でも豊かな経験をお持ちの山口委員を指名します。

—拍手—

- (会 長) 副会長にごあいさつをお願いします。
- (副会長) 関東学院で10年間教鞭をとっている経験や地域福祉計画の策定にいくつかかかわってきている経験をいかして、お手伝いしていきたいと思います。
- (事務局) それでは、議事の進行を会長をお願いします。

6 議題

(1) 墨田区地域福祉計画の改定について

- (会 長) 本日は、地域福祉計画の改定についての目的、計画期間、検討方針、法的な背景、協議会の体制や日程等を説明します。また、委員の皆様にご自己紹介も兼ねて一言ずつお言葉をいただきたいと思います。それでは、事務局から策定に至る経緯と策定の手順をご説明いただきます。
- (事務局) 資料に従って説明します。

—資料説明—

- (会 長) ありがとうございます。地域福祉計画は地域福祉全般にわたる計画です。この1年間で、児童、高齢者、障害児者の10年後を見据えて話し合いをすすめていく必要があります。協議会を何回も開催するのではなく、作業部会で企画をして、課題別に拡大作業部会で関係者を交えて話し合いをし、協議会は全体会として作業部会や拡大作業部会での話し合いの承認をする体制にしたいと考えています。早速、6月2日に作業部会を開催します。どういう課題を取り上げるか、話し合いに加わっていただく方の人選等を話し合います。各行動計画で取り上げられている個別の課題ではなく、例えば、なぜ児童に対するきめ細かい支援のメニューができないかということ、学校との連携の問題があるからです。孤独死する人が増加している現状を踏まえて、見守りやつながりの問題も出てきています。このように児童、高齢者、障害児者に共通する連携やつながりの問題、また、生活保護者の要支援者を視野に入れた課題やボランティアの課題を考えています。各行動計画の策定にかかわった方や委員の皆様も得意分野の拡大作業部会へ加わっていただき、全体で取り組んで地域福祉計画をつくりあげていきたいと考えています。ここで「なぜ地域福祉なのか」というお話を副会長からいただきます。
- (副会長) 日本の社会福祉の歴史は施設を中心とし、対象別・領域別に発展してきました。しかし、例えば、寝たきりの高齢者といっても、介護、住宅の問題、介護する人の労働や賃金の問題、介護する人に子どもがいれば子どもの教育問題等、問題は高齢者の問題にとどまらず多様化してきます。生活は具体的なものですから、地域での生活を維持するためには地域社会の中で問題解決にあたっていかなければ解決できないのです。また、今までの例から、よい地域福祉計画をつくっても実行するのは難しく、10年経てば忘れてしまうという傾向にありました。やはり住民が一緒に参加していくように、徹底したガバナンスによって地域福祉計画をしっかりとつくり実行し、評価していく仕組みをつくっていかねばならないと思います。

- (会 長) ありがとうございます。私は次世代育成行動計画の策定に委員として参加した経験から、参加委員からの意見聴取の仕方や事務局の計画策定のプロセス、また問題をたらいまわしにするのではなく、住民も各機関も共に現在あるものをいかながら自分たちのやれることの幅を広げ、協力して問題解決をしていくという、墨田区の掲げるガバナンスの考え方は非常に重要であると実感しました。今回も委員の皆様とガバナンスということと一緒に考えていただきたいと思います。それでは、地域福祉計画に対する期待、地域福祉の考え方、地域の情報提供等、それぞれのお立場や様々な角度から一言ずつお言葉をお願いします。
- (委 員) 私たちの施設では、配食サービスをしています。施設の職員で配ると速く合理的ですが、地域のボランティアさんに配っていただくことで地域のお年寄りにどんな課題があるかを理解することができ、福祉の種まきができるのではないかと思いますので、そういう方向で少しずつ力を尽くしていきたいと思います。独居高齢者等の住宅の課題についての拡大作業部会に参加したいと思います。
- (委 員) 墨田区社会福祉事業団では、今年度から旧文花小学校の跡地で、重度の知的障害児者の方に1日過ごしていただく施設を運営しています。この施設の隣には、知的障害者のためのグループホーム「ほーむアンプレラ」もあります。苦しい財政の中こうした施設をつくっていただき、障害者の方の自立支援に向けた社会基盤が整ってきていると感じています。
- (委 員) 墨田区社会福祉協議会では、来年度は地域福祉活動計画改定を控えています。対象者が急激に増加している中、地域福祉の実現のために、地域福祉活動計画にこの協議会での意見を取り入れることができるのではないかと期待しています。
- (委 員) 町会の会長をしています。高齢者が25万円の年金で生活をしていくことは本当に大変です。統廃合していく小学校の跡地にホームをつくっていただければと思います。また、地域の中に丁寧な福祉を受けられずに孤独死していく方がいる悲しい現状の中、私もこの協議会で地域福祉についてもっと勉強したいと思います。
- (会 長) サービスを増やしてほしいという要望はありますが計画には限りがあります。住民の方々に参加していただき今あるものをどういかにしていけるかを、ガバナンスでやっていくアイデアをぜひ出していただきたいと思います。
- (委 員) 私も最近身寄りのない方の孤独死に直面しました。友人が身を案じて個人情報や守秘義務の関係で、警察が介入するまで発見できなかったそうです。個人情報は大切ですが、自分の身に置き換えるととても心配になりました。
- (委 員) 私も町会で防災組織をつくる際、個人情報の関係で組織図や名簿がつくれなかったことがあり、やはり問題を感じています。私は銭湯を経営していて高齢者の方が喜んで通ってきてくれるので、どんな施設もバリアフリー化の必要があると感じています。また、外国人の子どもの将来を見据えた福祉支援を考える必要も感じています。さらに、障害者の働く場所の支援にもう少し力を入れていただきたいと思います。
- (会 長) 孤独死の問題、国際家族の問題、障害者の就労の問題、どれも10年後を視野に入れて考えていく必要があります。
- (委 員) ボランティアサークルからきています。私たちは障害者も健常者もハンディをカバーし合えば一緒に活動ができると考えています。メンバーの中には視覚障害者の方も車

いすの方もいますが、個人情報の関係なのか障害者の方もなかなか集まらなくなってきました。また、公共施設のバリアフリー等の整備はすすんでいます、壁が白一色で視覚障害の方にとっては歩きにくいとことがあります。公共施設建設の際は、計画の段階で障害者の意見を聞く機会があるとよいと思います。他にも、障害者の居宅介護について、ヘルパーさんの障害者に対する対応の教育が不十分でトラブルになっているという課題があります。

- (委員) 第二次後期計画で達成していることを評価して、行政や地域の活動をわかりやすく周知することが大切だと思います。地域で子どもを育てましようとか、人にやさしいまちづくりといっても実際には自分勝手な方が多い中、まず人を育てることに力を入れなくてはと感じます。また、自殺者が年間3万人という現状が10年後にどうなるかを考えると、ここにも見守りの必要性や見守る人材が必要だと思います。
- (会長) 今回の地域福祉計画は評価できるようなしっかりとしたものにしていきたいと考えています。
- (委員) 作業部会のメンバーは男性しかいませんが、実際に子育てや介護をしている女性の目線を入れないと、立派な地域副社計画はできても説得力がないものになってしまいます。ぜひ、作業部会のメンバーに女性を入れていただきたいと思います。
- (会長) そうですね。検討させていただきます。
- (委員) 墨田区福祉保健部長です。委員の皆様のお話から、個別計画にかかわる課題もたくさん出てきました。ここから地域福祉計画にかかわる、共通の課題を取り込んでいく視点が大切だと考えています。
- (委員) 子育て支援担当部長です。昨年度、3月に次世代育成支援行動計画が策定されました。委員の方々が中心となり15回の会議で討議を重ねてできあがりしました。委員の皆様から次世代育成支援行動計画の周知をお願いをされています。ぜひこの中でも周知をさせていただき、地域福祉計画の中に盛り込んでいただきたいと思います。
- (委員) 保健衛生担当部長です。区民の健康づくり総合計画と地域福祉計画がうまく連携できるような視点でかかわっていききたいと考えています。
- (委員) 現在、町会においても人が集まらない、自分勝手である、相談がしにくい、つながりが希薄である、会員は高齢者ばかりである等の課題があり、高齢者が孤立化していく傾向を感じます。
- (会長) 孤立化を防ぐために、人と人とのつながりをどのようにつくっていくかは大きな課題です。
- (委員) 障害者施策推進協議会の会長です。墨田区の障害者に対する施策は確かにすすんでいます。しかし地域の中では、障害者と健常者の間に依然として線引きがあることを感じます。障害者を健常者の活動の中に引き込んで一緒に生活していくためには、根本的に人と人との融合が必要だと感じています。
- (会長) 現在は集合住宅に住んでいる人が多く、人と人が地続きで生活していることが少なくなっています。また、施策はあっても施策を知らないという場合もあります。
- (委員) 30年以上地域活動に携わっており、現在は民生委員しています。ここ10年間で子ども会、PTA、婦人会、老人クラブ、町会等の地域コミュニティの急激な崩壊を肌で感じます。行政側が地域の一部のニーズにこたえる形で導入した区立小中学校自由選

択性という自己責任の制度が、自分勝手主義を助長し地域福祉の基盤である地域コミュニティ崩壊の大きな要因の一つになったと思います。墨田区の最大の特徴である人と人とのつながりが希薄になってきている中、今後地域福祉活動の推進に必要なのは、地域の中で人と人との支え合い連携するという地域コミュニティの再生だと考えます。

(委員) 薬剤師会から参加しました。先日、テレビ番組で素晴らしい地域医療をされている先生の「自分はまだまだ患者さんの奥にある家族・介護等の背景までみていなかった」という反省のお言葉を聞いて、まだ地域の中でやれることはあると実感し、私たちも地域にある薬局として、何か地域の一助になれるような活動をしていきたいと思いました。また、築150年の古民家が子育て中の親子に開放されて、楽しそうに過ごしている写真を見たことがあり、誰もが気軽に相談できる魅力的な拠点づくりも大切だと感じています。

(委員) 歯科医師会の代表をしています。現在、墨田区には約190件の歯科医院があります。その中で若い30歳代の先生方の公衆衛生事業に対するご理解がだんだん薄れていくことを感じています。実際に歯科医師会への入会も減少しています。先生方のお忙しい事情はありますが、何とか入会していただき公衆衛生事業にご協力をいただきたいという内部事情があります。

(委員) 医療というのは、保健や福祉と密接な関係があります。医師会としては、日々の地域医療から医療を必要としている人の意見やその人たちの生活を知る立場で地域福祉計画にかかわっていきたく思います。また、委員の方々からの情報や意見の集約の方法に会議だけでなくメールやFAX、手紙等色々なかたちを考えていただければよいと思います。ひとり暮らし高齢者の孤独死の問題は以前から言われていることにもかかわらず、墨田区では改めてこの場で言わざるを得ない状況にあることを重く受け止めなければいけないと思います。皆様と共に叡智を働かせて、墨田区に住んで墨田区で人生を終えてよかったと思う人が一人でも多くなるよう、会長・副会長さんのもと精一杯お手伝いさせていただきます。

(会長) 透明性のある、様々な人たちの意見が行き交う場にしていきたく思います。先ほどお話に出たワールド・カフェについて説明をさせていただくと、これは課題や夢等を語り合う1つの手法です。今後地域福祉計画を策定していく段階で様々な話し合いが必要となりますが、その中の1つの方法として実施したいと考えました。推進協議会の委員の皆さん、事務局の方々、拡大作業部会に入ってください方等に参加していただきたいと思います。また、今後地域での集会等の参考にもなると思います。よい話し合いになるよう準備をすすめていますので、皆様のご参加をお願いします。それでは、副会長に本日のまとめをお願いします。

(副会長) 本日は、委員の皆様から地域における深刻な問題や参考になるご意見をいただきました。今後は現状はどうか、理想の姿はどのようなものなのかという共通理解や共通の認識が必要です。そこから現状と理想のギャップである問題の背景や原因を分析する中で解決策が出てくると考えます。また、解決できる問題と解決できない問題の区分けも必要だと思います。このような視点を持ってワールド・カフェでそれぞれの立場からのご意見をいただくことができれば、今後の話し合いがスムーズにすすんで

いくと考えています。色々な立場でご意見を出していただければ、どこにどういう要望があり、それを担っていくところはどこなのか、どういう協力ができるのかというガバナンスが生まれてきます。作業部会、ワールド・カフェ、拡大作業部会そして全体の協議会と1つずつ手続きを踏みながら検討、承認をしていただきすすめていきたいと思ひます。

(2) その他

(会 長) 最後に事務局から連絡があります。

(事務局) 今後の日程についてです。推進協議会は今年度中に3回開催します。第2回は11月中旬、第3回は2月を予定しています。次回から、資料は事前に委員の皆様にお届けします。6月12日にワールド・カフェ、6月の下旬から2週間に一度位の割合で拡大作業部会を開催していく予定です。

(会 長) 第1回墨田区地域福祉計画推進協議会を閉会します。